

平成26年 5月 8日

各 位

会社名 中央化学株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 水野 和也  
 (コード番号、7895)  
 問合せ先 常務執行役員 経営企画管掌 中野 保則  
 役職、氏名 経営企画本部長  
 電 話 048-540-2805

### 繰延税金資産の一部取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成26年3月期における繰延税金資産の取崩しについてお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成26年2月12日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 繰延税金資産の取崩しについて

今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額に約5億円を計上する予定です。

なお、業績に与える影響については、4. 修正の理由 をご覧ください。

#### 2. 平成26年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成25年1月1日～平成26年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	72,000	△3,900	△3,100	△3,700	△183.63
今回修正予想 (B)	71,950	△3,991	△3,389	△4,621	△229.36
増減額 (B-A)	△50	△91	△289	△921	
増減率 (%)	△0.1	△2.3	△9.3	△24.9	
(ご参考) 前期実績 (平成24年12月期)	59,413	628	618	△741	△36.79

※ 「前回予想」および「今回修正」は、平成25年1月～平成26年3月の15ヵ月間の数値であります。

#### 3. 平成26年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成25年1月1日～平成26年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	64,000	△3,800	△3,700	△4,100	△203.48
今回修正予想 (B)	64,211	△3,909	△3,729	△4,731	△234.82
増減額 (B-A)	211	△109	△29	△631	
増減率 (%)	0.3	△2.9	△0.8	△15.4	
(ご参考) 前期実績 (平成24年12月期)	54,140	478	491	△688	△34.16

※ 「前回予想」および「今回修正」は、平成25年1月～平成26年3月の15ヵ月間の数値であります。

#### 4. 修正の理由

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、円安進行による輸出採算の向上に加え、消費税率引き上げ前の駆け込み需要等により、企業業績や個人消費に改善がみられるなど、景気は回復基調で推移しました。

一方、当社が使用するプラスチック原材料の価格は、高止まりする原油価格や円安などの影響を受け大幅に高騰した他、電気料金や運賃など各種料金の値上げも続き、収益を著しく圧迫する状況となりました。これら外部要因を、社内合理化や製造原価低減等の企業努力で吸収することは困難な事から、昨年5月に製品価格の改定を発表し、製品価格改定を実施したものの、その後の円安進行と原材料価格高騰の継続により、収益環境は依然厳しい状況が続いております。

この結果、通期の連結業績は、売上数量は前回予想に対して増加いたしましたが、売上高は価格改定の遅れなどから前回予想に対し約1億円下回る見込みとなり、営業利益についても同様に前回予想に対し約1億円下回る見込みとなりました。

経常利益については、営業利益の未達に加え、第5四半期中において為替相場が円高に振れたことから為替差益が約2億円減少したことなどにより、前回予想に対し約3億円下回る見込みとなりました。

当期純利益については、経常利益の未達に加え、繰延税金資産の取崩しが約5億円発生したことなどから、前回予想に対し約9億円下回る見込みとなりました。

以 上